

心理物理表情空間における クラスタ重心と意味次元の関係分析

On the Relationship Between Cluster Centroids and Semantic Dimensions in
Psychophysical Facial Expression Space

浜崎昂多・暗号認証分科会・中央大学大学院

目的

表情知覚は人間の認知において重要な役割を果たすが、心理物理表情空間における方向構造がどのような心理的意味を持つかは明らかになっていない。本研究では、表情弁別閾値楕円の軸方向に着目し、心理物理表情空間の基底構造の解明を目指す。

今年度の成果

- 心理物理実験データから弁別閾値楕円を推定
- 楕円軸を6次元方向ベクトルとして抽出
- クラスタリングにより、代表的な方向構造の存在を確認

今後の予定

- クラスタ重心方向に沿った表情モーフィング刺激を生成
- 心理実験により各方向の意味的解釈を検証
- 心理物理表情空間の基底次元としての妥当性を検討